

日本スピリチュアルケア学会
人材養成講座認定

1. 基礎データ

組織名（和文）	高野山大学別科スピリチュアルケアコース	
組織名（英文）		
代表者氏名	井上 ウィマラ	e-mail: vimalajp@yahoo.co.jp
事務担当者氏名	森崎 雅好	e-mail: gahoan@gmai.com
組織所在地	和歌山県伊都郡高野町高野山 385	電話 : 0736-56-2921
設立年		
沿革	2006年4月	高野山大学文学部スピリチュアルケア学科開設
	2010年4月	スピリチュアルケア学科学学生募集停止
	2013年4月	文学部密教学科スピリチュアルケア領域として存続
	2014年4月	高野山大学別科スピリチュアルケアコース開設
組織の目的、ミッション・ステートメント等		
<p>スピリチュアルケアはホスピス運動を歴史的背景として生まれてきたもので、人が死を迎える最後の瞬間までその生を全うすることができるようにケアすることを目的としています。しかし、このようなケアはホスピスにだけ必要なものではありません。生老病死にまつわるあらゆる現象が思い通りにならない苦しみをもたらし、この苦に対処するための智慧が求められています。現代的ホスピス運動や緩和ケアの展開とともにスピリチュアルケアの重要性が注目されるようになった理由がそこにあります。高野山大学のスピリチュアルケアコースでは、スピリチュアルケアを苦しみの渦中にある人々に寄り添い、共感的に見守る環境を提供することであると幅広く捉え、仏教・密教の教えを背景として自他の「いのちの営み」のために自己を活かす智慧と技を身につけることを目標といたします。</p>		

2. 教育担当一覧

1) グループワーク、スーパービジョン、演習等担当者

	氏名 (Name)	就任年	主担当科目 (2科目まで)
1	井上ウィマラ Inoue Vimala	2006	マインドフルネス I・II 個人スーパービジョン
2	森崎 雅好 Morisaki Masayoshi	2008	臨床心理学テスト I・II 個人スーパービジョン
3	大河内 大博 Okouchi Daihaku	2014	スピリチュアルケア訓練 I・II
4	大下 大圓 Oshita Daien	2014	スピリチュアルケア訓練 I・II
5	橋本 久仁彦 Hashimoto Kunihiro	2014	コミュニケーション訓練 I・II
6	山添 正 Yamazoe Tadashi	2014	グループスーパービジョン I・II

2) 講義課目等 担当者

	氏名 (Name)	就任年	主担当科目 (2科目まで)
1	井上ウィマラ Inoue Vimala	2006	スピリチュアルケア援助論 仏教心理学と事例検討
2	森崎 雅好 Morisaki Masayoshi	2008	心理学と密教の深層心理 高野山の宗教文化
3	窪寺 俊之 Kubodera Tohiyuki	2014	スピリチュアルケア概論
4	根岸 和政 Negishi Kazumasa	2014	メンタルヘルス
5	西川 みち子 Nishiakwa Michiko	2014	対人援助の方法と実際
6	佐藤 隆彦 Satou Ryugen	2014	密教瞑想
7	坂口 幸弘 Sakaguchi Yukihiro	2014	グリーンケア
8	島蘭 進 Shimazono Susumu	2014	死生観
9	やまだ ようこ Yamada Youko	2014	もの語りの心理学

10	山添 正 Yamazoe Tadashi	2014	こころのケアとは
----	-------------------------	------	----------

3. 人材養成講座領域 充当表

時間	科目名（他団体からの借入科目の場合は提供団体名／その他、備考）	
＜基礎領域＞		
思想・宗教・伝統・文化 36 時間	日本を中心としつつ、広く人類の思想・宗教・伝統・文化に関する基礎的な知識を持つと同時に、その中におけるケア提供者自身を基盤づけているスピリチュアリティの位置づけと特徴についての深い理解に繋がる教育。特に、ケアの基礎となる、共同体と個人との関係について、その変遷や潜在的な可能性への洞察力を養う教育。	
22.5	高野山の宗教文化	
22.5	死生観	
心理・力動・援助 36 時間	個人の成長に関わる個人因子と環境因子への理解、対人関係における社会的心理学的メカニズムの理解、援助関係における「権力」構造の理解のための教育。社会構築、言語と解釈、非指示的療法、傾聴、パターンリズム、自立・自律、投影、転移・逆転移等の基本概念の教育。	
22.5	グリーフケア	
22.5	こころのケアとは	
22.5	対人援助の方法と実際	
22.5	臨床心理学援助論	
22.5	災害時の心のケア	
22.5	もの語りの心理学	
22.5	メンタルヘルス	
＜専門領域 A＞		
スピリチュアリティ論 24 時間	思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に基づく、スピリチュアリティの体系的教育	
22.5	スピリチュアルケア概論	
22.5	仏教心理学と事例検討	
22.5	心理学と密教の深層心理	
スピリチュアルケア論 24 時間	援助者・対象者間のスピリチュアリティの力動に基づく、ケアの体系的教育	
22.5	スピリチュアルケア援助論	
22.5	スピリチュアルケア訓練 I	
22.5	マインドフルネス I	
22.5	終末期医療看護	

＜専門領域 B＞	
グループワーク	心理およびスピリチュアリティの次元でおこる、自己および他者の内的力動と対人的力動を体験的に理解し、効果的にケアを提供できる能力を養う教育
臨床スーパービジョン 60/120 時間	スピリチュアルニーズを理解しケアする臨床力を、個人スーパービジョンならびにグループスーパービジョンをとおして育成する教育
22.5	個人スーパービジョン
45	グループスーパービジョン
45	コミュニケーション訓練 I・II
22.5	マインドフルネス II
45	臨床心理学テスト I・II
臨床実習 120/240 時間	スピリチュアルケアが求められる医療・福祉・教育・産業その他の、臨床現場におけるチームケアに参加する。
60	臨床実習 I
60	臨床実習 II
＜専門領域 C＞	
スピリチュリティの涵養	援助者各自のスピリチュアリティを育成する教育
22.5	密教瞑想
22.5	聖地巡礼
継続教育	臨床活動を行う援助者を継続的にサポートし専門性を維持するための教育
6	継続研修 1 (年 2 回)
12	継続研修 2 (年 2 回)

4. 教育課程表

I. 高野山大学別科スピリチュアルケアコースの学びの特徴

- ① 仏教・密教の精神に基づき日本の風土にあった新しいケアの可能性を探求する。
- ② 病院、在宅、施設などあらゆる場面で役に立つ理論に基づいた技を学ぶ。
- ③ 第一線で活躍する教員をそろえ経験に裏打ちされた実践的な学びが体験できる。
- ④ 本コースは、日本スピリチュアルケア学会の資格取得に必要な教育過程を提供し、スピリチュアルケアに携わることのできる人材を育成する。
- ⑤ 平日を主体とした学び、土曜日を主体とした学び、平日と土曜日を組み合わせた学びなど、社会人のために自由度の高い履修形態を提供している。

II. カリキュラムの特徴について（付表 1）

- ① スピリチュアルケアに必要な科目を幅広く提供する。
- ② 別科スピリチュアルケアコース修了要件単位数は、2年間で30単位である。そのうち、学会資格取得のための単位数は26単位である。本コースを修了した者に学会資格取得者として推薦を行うため、コース修了者はより多くの学びを修めたことになる。

付表 1 高野山大学別科スピリチュアルケアコース開講科目

修了要件	開講科目名	講師	修業 時間数	単位		学会資格 教育領域
基礎科目 (7 科目選択)	グリーンケア	坂口他	22.5	2	半期	基礎 2
	高野山の宗教文化	井上・森崎	22.5	2	半期	基礎 1
	こころのケアとは	山添	22.5	2	半期	基礎 2
	終末期医療看護	田村	22.5	2	半期	専門 A2
	心理学と密教の深層心理	森崎	22.5	2	半期	専門 A1
	スピリチュアルケア援助論	井上	22.5	2	半期	専門 A2
	スピリチュアルケア概論	窪寺	22.5	2	半期	専門 A1
	対人援助の方法と実際	西川・根岸	22.5	2	半期	基礎 2
	臨床心理学援助論	森崎	22.5	2	半期	基礎 2
実習科目 (4 科目選択)	グループスーパービジョン I II	山添	45	2	通期	専門 B2
	個人スーパービジョン	井上・森崎	22.5	2	通期	専門 B2
	コミュニケーション訓練 I II	橋本	45	2	通期	専門 B1
	スピリチュアルケア訓練 I II	木下・大河内	45	2	通期	専門 A2・B1
	マインドフルネス I II	井上	45	2	通期	専門 A2・B1
	臨床心理学テスト I II	森崎	45	2	通期	専門 B1
関連科目 (4 科目選択)	災害時の心のケア	井上・森崎	22.5	2	半期	基礎 2
	死生観	島藺	22.5	2	半期	基礎 1
	聖地巡礼	井上・森崎	22.5	2	半期	専門 C1

	密教瞑想	佐藤	22.5	2	半期	専門 C1
	メンタルヘルス	根岸	22.5	2	半期	基礎 2
	もの語りの心理学	やまだ	22.5	2	半期	基礎 2
合 計			607.5	44		

Ⅲ. カリキュラム時間割表 (付表 2)

①平日及び土曜日に開講することで、自由度の高い履修形態を提供する。

②時間割表の「適時開講」枠は、履修登録上の表記である。「個人スーパービジョン」は指導教員と履修生の双方の都合の良い時間に「臨床実習Ⅰ」及び「臨床実習Ⅱ」は実習先の都合に合わせて行う。また、「密教瞑想」及び「聖地巡礼」は集中講義形式で行う。

③「臨床実習Ⅰ」及び「臨床実習Ⅱ」は別科修了要件に含まれないが、資格取得希望者は毎年度履修する。また実習は時間割表の時間には行わず、別途、実習時間を設ける。

④「継続研修」科目は記載されていないが、2016年度より毎年2回開講し、修了生の資質の向上及び維持を行う。

付表 2 別科 スピリチュアルケアコース時間割

平日		適時開講	1 時間目	2 時間目
		16:30~18:00	18:20~19:50	20:00~21:30
月	前期	個人スーパービジョン	仏教心理学と事例検討	マインドフルネスⅠ
	後期	個人スーパービジョン	マインドフルネスⅡ	スピリチュアルケア援助論
火	前期	密教瞑想	心理学と密教の深層心理	臨床心理学テストⅠ
	後期	聖地巡礼	臨床心理援助論	臨床心理学テストⅡ
水	前期	臨床実習Ⅰ	スピリチュアルケア訓練Ⅰ	スピリチュアルケア訓練Ⅱ
	後期	臨床実習Ⅱ	終末期医療看護	災害時の心のケア
木	前期	個人スーパービジョン	グループスーパービジョンⅠ	グリーンケア
	後期	個人スーパービジョン	グループスーパービジョンⅡ	こころのケアとは
金	前期		もの語りの心理学	高野山の宗教文化
	後期		対人援助の方法と実際	メンタルヘルス

土曜日		連続 4 時限講義
		9:00~16:00
第 1 土	前期	対人援助の方法と実際
	後期	メンタルヘルス
第 2 土	前期	グループスーパービジョンⅠ
	後期	グループスーパービジョンⅡ

集中講義		連続 5 時限講義
日時	会場	9:00~17:50
8/1~3	大阪	スピリチュアルケア概論
8/8~10	大阪	死生観
8/22~24	大阪	コミュニケーション訓練Ⅰ
9/16~18	高野山	密教瞑想

第3土	前期	心理学と密教の深層心理
	後期	スピリチュアルケア訓練Ⅰ
第4土	前期	スピリチュアルケア訓練Ⅱ
	後期	高野山の宗教文化

2/6～8	大阪	コミュニケーション訓練Ⅱ
-------	----	--------------